

お知らせ

阿用地区振興協議会の行事など、お知らせを掲載します。

阿用の駐在さんからのお願い

本年中はお世話になりました。来年もよろしくお願います。○一月十日は「110番の日です。」

事件、事故等の緊急の対応を必要とする場合は、「110番」通報して下さい。

緊急の通報手段です。イタズラ電話はやめましょう。また、緊急でない相談等については、警察相談電話「#9110」をご利用下さい。

○一月十五日から一月二十一日は防災とボランティア週間です。また毎年一月十七日は防災とボランティアの日です。

防災とボランティア週間とは、災害時におけるボランティア活動や自主的な防災活動についての認識を深めることにも、災害への備えの充実強化を図るものです。家族や自治会などで災害に備えて話し合い、準備、確認をしましょう。

一、準備しておきましょう

●ラジオ(常に新しい災害情報を入りましょう)

●飲料水(一人一日三リットルで三日分が必要)

●非常食(缶詰、インスタント、シトルト、チョコレート等、三日分が目安)

●汲み置き水(風呂に汲み置き、トイレ等の生活用水として利用できます)

●ヘルメットや頭巾(薄手の座布団を二つ折りにしても代用できます)

●消火器(一、二本準備して分散配置が理想です 有効期限は五年程度です)

●家具の転倒防止

二、確認しておきましょう

●避難場所(避難経路)

●家族との連絡方法

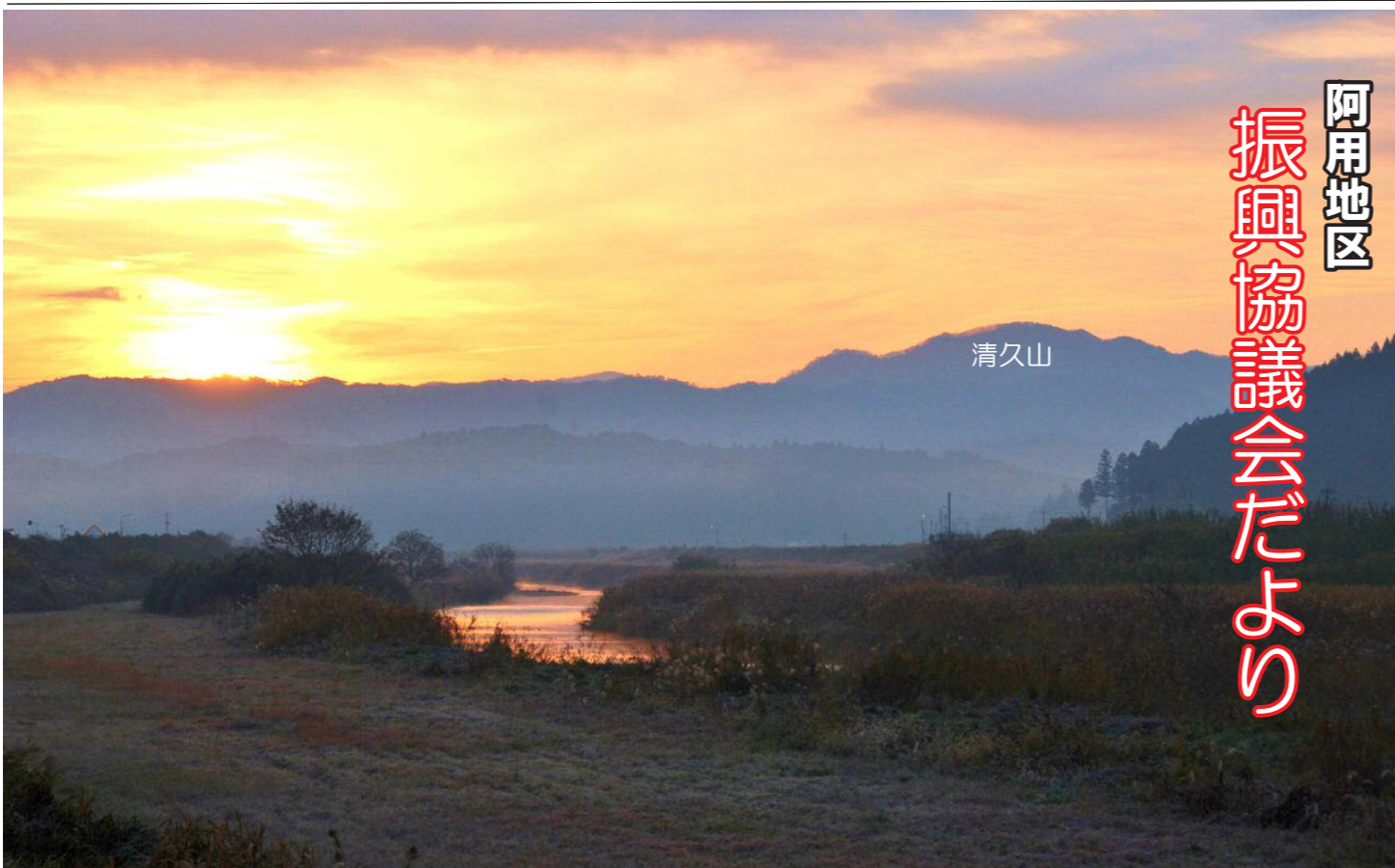
●応急手当の方法

福祉義援金にご協力いただき、ありがとうございます。

アヨまつりの際に、平成二十七年台風第十八号等大雨災害義援金をお願いしたところ、一万四千二百円の浄財をご寄付いただきました。

阿用地区

振興協議会だより



清久山

H27.12.31 発行 No.69 阿用地区振興協議会 ◆腰痛と膝痛予防にアヨさん体操◆ 電話・FAX 43-2811

平成二十八年 年頭所感 永瀬康典

新年明けましておめでとございます。今年もどうぞよろしくお願います。

新年にあたって、私の想いを掲載し、ごあいさついたします。

一つ目は、地区および自治会ごとの防災計画の樹立です。

平たんな下阿用から、急峻な山を抱える川井など地形が自治会により異なります。最近では、全国各地で記録的短時間大雨が多発しています。「これまで経験したことのない大きな災害が予想されます、直ちに命を守る行動をとってください」と、テレビやラジオで緊急放送が...

①避難場所の確保、②組織づくり・連絡体制の確立、③避難経路、④要援護者は誰か、⑤支援者は誰かなど

二つ目は、健康長寿の里づくりです。2025年問題「団塊の世代」→七十五歳以上となることによる起る、医療、介護関係に膨大な金がかかるとともに、看護師や介護士が徹底的に不足するという問題です。

地域自主組織としても、この問題には正面から向き合う必要があると思います。

現在取り組んでいるサロン活動は参加者が多く、これまでに以上内容の充実をはかりました。問題は、男性の参加が皆無に近い状況です。そこで、地区全体の「健康サロン」を立あげてはどうでしょうか。

たとえば、健康体操、血圧測定、健康相談、簡単なゲームなどを行う、約二時間コースを想定しています。自治会を飛び越え、地区の皆さんが相互に健康づくりを併せ「ミニコミュニケーション」活動ができる仕組みの構築をめざしてはと思っています。

三つ目は、小さな農業・家族経営農業の応援です。政府は「農地集積」規模拡大「儲かる農業」をめざしていますが、雲南市のような中山間地は農地の出し手はいても受け手はいません。「畔の草刈、水路・農道の管理、鳥獣害対策、自然災害の多発など」農地集積した場合、これらの農地管理を誰がやりますか。今まで脈々と続いてきた里山の維持は、小さいながらも家族農業者がいたからこそ守られてきました。

規模の小さい家族経営農業でもまだまだ展望が開けます。とくに、健康志向の高まりとともに、「無化学・無農薬栽培米」、「工米」が見直されています。現在、アヨ有機農法塾会員は工米を市内の保育所等へ直販を行っています。が、数量が少ないため大々的なPRが出来ません。これら無農薬、工米の栽培は県への認定手続等があります。説明会の開催や手続き等の指導を行いますので挑戦してみてください。

